

ちよのおか
10 千代ノ岡のタラヨウ 東村

所在地 西白河郡東村大字仁井田字千代ノ岡

管理者 個人

樹 齢 200年

樹 高 14.5m

胸高周囲 150cm

科 名 モチノキ科

樹 種 タラヨウ



来歴

タラヨウはモチノキ科の常緑高木。暖地の山地に自生する(広辞苑)。寒冷な東北地方での生育は珍しく、「江戸時代、庄屋(しょうや)だった深谷家が植樹した」といい伝えられ、推定樹齢は200年以上である。葉は長楕円形で厚く光沢を有する。葉を傷つけると黒変して字が書けるため、写経に用いたことから「多羅葉」の名があると言われる(広辞苑)。

かわばた
11 川畑のヒイラギ

泉崎村



来歴

伝承によれば、昔、旅の僧が水を飲み、その御礼に枝をさし、そこから芽が出たのがこのヒイラギと伝えられる。葉に鋸歯(きよし)がないのは老木のためであろう。樹齢推定800年の県内でも珍しいヒイラギの老木である。

天然記念物指定 昭和51年6月22日 村指定

所在地 西白河郡泉崎村字川畑

管理者 個人

樹 齢 800年

樹 高 8.0m

胸高周囲 250cm

樹 種 モクセイ科 科 名 ヒイラギ